

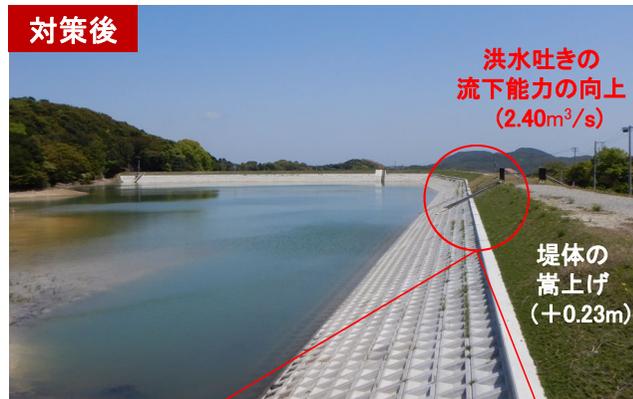
ため池の決壊防止対策の実施により下流への被害発生を防止(兵庫県)

すもと うわたはらおおいけ
 ○兵庫県洲本市の「上田原大池」においては、防災工事を平成28年度から進め、3か年緊急対策を活用し令和2年度までに完了。
 ○令和3年8月の大雨では、1時間雨量65.5mmを観測したが、防災工事を完了していたため、堤体の決壊等を未然に防止し、ため池下流の農地や住宅への被害を回避。



ため池の防災工事による決壊の防止

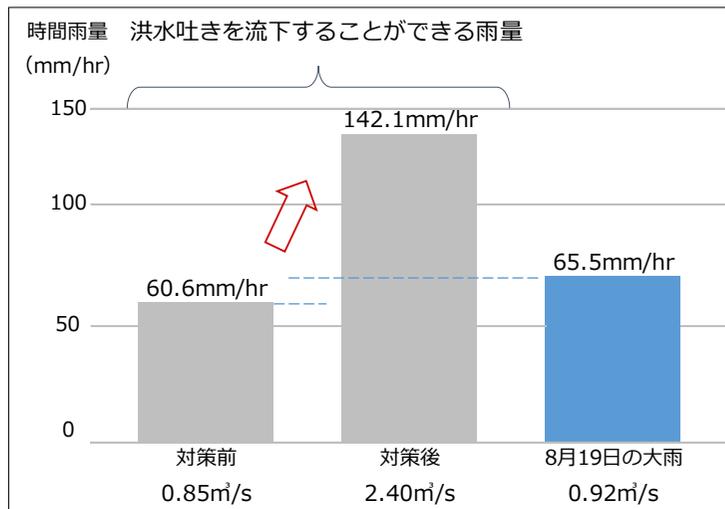
- 上田原大池は、貯水量が4万3千 m^3 と大きく、浸水想定区域に住宅が多数存在。
- このため、対策の優先度が高く、3か年緊急対策の活用により、洪水吐きの断面を拡大し、堤体を嵩上げ。



洪水吐き断面拡大
堤体嵩上げ



事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	2億6,300万円	H28~R2
うち3か年緊急対策	7,300万円	R1~R2



8月19日の大雨に対する被害

対策の有無	被害想定額	影響を受ける住宅
対策なし (決壊した場合)	8億4,000万円	128戸
対策あり	被害なし	被害なし